

夏井小学校での森林教室について

1 はじめに

久慈市立夏井小学校の森林教室は2000年の新校舎完成以前から毎年行っています。学校林の手入れなどを実施してきましたが、数年前に伐採されたため、今年は10月6日に3・4時間目の授業として、全校生徒32名とリース作りと鑑賞炭作りを実施しましたので報告します。

2 森林教室の授業

作業の前に秋の恵である木の実、きのこ、紅葉についての勉強やヤマブドウ、あけびなどの完熟度合いを調べるために糖度計で測る実験などの授業をしました。

3 リース作り

リース作りは、ツルや松ぼっくり・どんぐりなどの木の実を生徒と一緒に採取する予定でしたが、天候悪化が予想されたため、予め先生方と手分けして準備した材料を使い、アケビのツルを巻き、木の実などを接着してリースの飾りつけをしました。

4 鑑賞炭作り

鑑賞炭作りは、空き缶を用意してもらい、その中に松ぼっくりやどんぐりなどをいれて、アルミホイルで蓋をし、少し穴をつけて、熾した炭の上において、煙の色を観察しながら作りました。時間があまり無くて鑑賞炭の成功例が少なかったのが残念でした。

最後に、時間外でしたが、学校側が準備したゆで卵を利用して燻製卵を作りました。給食時間に食べてもらいましたが、特に先生に

は好評でした。来年も工夫しながら森林に親しめる授業にしたいと考えています。



写真1 “秋の森の恵み”の森林教室



写真2 アケビのツルを利用したリース作り



写真3 木炭を熾して鑑賞炭作りの準備